

## 国保東庄病院新改革プラン進捗状況について（平成 30 年度実績）

プランの名称	国保東庄病院新改革プラン
策定時期	平成 29 年 3 月（平成 28 年度）
対象期間	令和 2 年度まで
内部点検	令和元年 5 月 10 日（内部点検委員会）
外部点検評価	令和元年 7 月 18 日 （東庄町国民健康保険事業の運営に関する協議会）

### 点検・評価

#### 第1 各項目に対する評価

##### 1. 地域医療構想を踏まえた役割の明確化への取組

- ・回復期病床として、安全で良質な医療を継続して提供した。
- ・介護療養病床の転換にあたって、国の動向を注視しながら研修会に参加し情報収集を行った。
- ・町内唯一の病院として、下記の医療機能等指標のとおり診療を行った。

目標項目	H30 目標	H30 実績	H29 実績
救急患者数（人）	6 1 0	<b>5 9 7</b>	5 5 8
訪問診療件数（件）	2 1 5	<b>1 2 7</b>	1 6 7
通所リハビリ件数（件）	3 6 0	<b>3 2 3</b>	3 2 5

- ・町広報紙で、病院スタッフによる医療に関する記事を掲載し、情報の発信を行った。

##### 2. 経営の効率化への取組

###### (1) 医師及びスタッフの確保

- ・医師確保のため、町ホームページに求人情報や奨学金等貸付制度の目的や募集要領を掲載しPR活動を行った。
- ・千葉県国民健康保険直営診療施設協会、全国自治体病院協議会に求人情報を掲載し、医師募集を行った。
- ・看護補助者定着のために、勤務時間の要望に可能な限り対応した。

###### (2) 地域医療連携体制の強化

- ・香取海浜地域保健医療連携・地域医療構想調整会議を傍聴し連携体制の情報収集に努めた。
- ・基幹病院である旭中央病院からは外来診療医師の派遣を受け、また、当院の医師は旭中央病院で研修を受け医療技術の向上に努めた。
- ・旭中央病院を中心に近隣病院等と患者の紹介・逆紹介を行った。
- ・膠原病専攻の常勤医師によるリウマチの外来診療を行った。
- ・整形外科専攻の常勤医師による整形外科外来診療を行った。

###### (3) 病床利用率の向上

- ・平成 30 年度 病床利用率 61.7%

#### (4) 診療報酬請求の適正化

- ・他部署と連携し検査、処置等での請求漏れを防止した。
- ・診療報酬改定年の為、医師を含む院内スタッフを対象に勉強会を実施し、請求の適正化に努めた。

#### (5) 経費の削減

- ・使用量の少ない薬品や返品が不可能な薬品は、包装錠剤数の少ないものを購入するように努めた。
- ・使用期限の近い薬品から使用するよう徹底した。
- ・複数の業者から見積もりを徴取して、一番安価なところから薬品を購入した。
- ・薬品を積極的に後発医薬品に切替えた。
- ・消耗品等の購入先を見直して、安価な物を購入するように努めた。

#### (6) 未収金対策の推進

- ・月末に未収が無いか確認し、未納者に電話催促をした。
- ・支払期日を定め、訪問徴収を行った。
- ・分割払いの相談に対応した。

### 3.再編ネットワーク化への取組

- ・香取海匝地域保健医療連携・地域医療構想調整会議を傍聴し情報収集に努めた。

### 4.経営形態の見直しへの取組

- ・今後の経営状況を鑑み検討を進める。

### 5.点検・評価・助言（東庄町国民健康保険事業の運営に関する協議会）

昨年の点検評価で、必要に応じて新改革プランの見直しを行うように提言しましたが、今回見直しを行った目標が、達成できるよう取り組んでいただきたい。

また、新改革プラン目標達成の最も基礎となる医師確保対策については、県・町等関係機関と緊密に連携するとともに、積極的な広報にも努め、引き続き最重要課題として取り組んでいただきたい。

加えて、令和5年度末の療養病床転換期限を踏まえ、地域の実情に応じ、今後増加が見込まれる慢性期の医療及び介護ニーズへの対応等に向け、適切な医療体制を構築していただきたい。